

2019年3月15日  
日 本 銀 行

### 豪州準備銀行との為替スワップ取極の延長について

日本銀行は、豪州準備銀行との間で両国の信用秩序の維持に資する観点から締結している豪ドルおよび日本円を相互に融通するための為替スワップ取極について、2022年3月17日まで期限を延長することを決定した。なお、本取極による引出限度額は不変（本行において200億豪ドル、豪州準備銀行において1.6兆円）である。

日本銀行は、本邦金融機関の豪ドルの資金決済に不測の支障が生じ、わが国金融システムの安定確保のために必要と判断する場合には、本スワップ取極を活用して、豪ドルの流動性供給を行う方針である。